

プログラム	課題名	研究代表者	研究分担者	研究開発の概要	研究期間
若手ICT研究者等育成型研究開発	Brain-Body-Machine Interface による身体の拡張を利用した行動支援システムの研究開発	南部 功夫 (長岡技術科学大学 工学研究科 電気電子情報工学専攻 助教)	なし	脳神経系からの生体情報を用いて行動(運動)意図を抽出し、人間の行動を支援するシステムの研究開発を目的とし、筋情報および脳情報により身体を拡張させたようなロボットアーム等の外部機器の操作を実現する Brain-Body-Machine Interface (BBMI)の技術開発を実施する。	フェーズ I 1年
地域ICT振興型研究開発	伝統的工芸品の世界販売戦略を支援するためのバーチャルショウケースの研究開発	阿部 淑人 (新潟県工業技術総合研究所 素材応用技術支援センター 参事)	大野 宏、 長谷川 直樹、 中部 昇、 木嶋 祐太 (以上、新潟県工業技術総合研究所) 村松 正吾 (新潟大学)	新潟県の伝統的工芸品について、海外への販売促進の取組をさらに活発にするために、高品位な製品画像を生成して、生産拠点以外の世界各地に点在する販売代理店等において臨場感高くディスプレイするための技術開発を行う。特に伝統的工芸品は、複雑で美しい模様や質感の再現が必須であり、実際の製品の模様や質感を正確に分析合成する画像解析技術と高臨場感表示する技術を組み合わせたバーチャルショウケースを開発する。	フェーズ I 1年